

採択事例 3 (平成22年度)

補助種別 木造化



プロジェクト名

2×4木造耐火構造による 暮らし継ぐ3世帯4階建住宅

提案者(事業者)

個人

設計者

三井ホーム株式会社 東京北支店一級建築士事務所

施工者

三井ホーム株式会社 東京営業本部東京北支店

建設地

東京都千代田区神田佐久間町三丁目

竣工済につき
簡略版としています

竣工済

提案の
概要



A. プロジェクト全体の概要

- 防火地域における狭小敷地への建設が可能な、循環型資材を利用した、木造4階建て住宅。

B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容

- I型複合梁の採用。国産材を一部利用し、木材市場を活性化する。
- 木造ならではの多彩なデザインによる街並み計画。

C. 提案のアピールポイント

- I型複合梁による耐火構造床の採用。防火地域における狭小敷地への対応を可能とする建て起こし工法の採用。
- 木造4階建てのこの建物が建設地で公開されることにより、防火地域への普及促進を図る。



ビルの建ち並ぶ市街地に竣工した4階建て木造耐火建物（左から2棟目）

評価の
ポイント

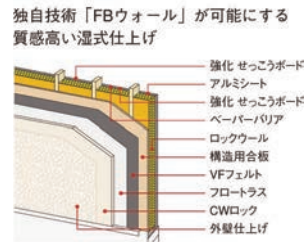


ツーバイフォー構法による耐火構造4階建て住宅で、I型複合梁による耐火構造床を採用。狭小敷地での施工を可能とする建て起こし工法を採用することにより、都市内の狭小、防火地域における木造中層住宅の普及促進につながるものと期待される。

このプロジェクトの
先端性・先進性

波及性・普及性

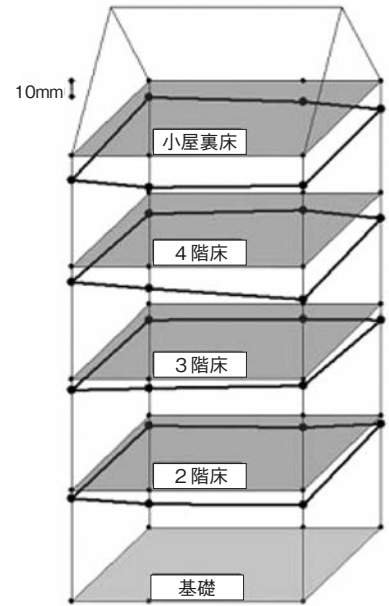
- 防火地域における木造4階建ての建設により、その建設可能性を公開。
 - 木造4階建ての沈み込みと振動特性の調査とその公開。
 - I型複合梁による耐火構造床を採用。
 - 高耐久性外装仕様により維持管理の容易性の向上。
 - 防火地域における狭小地域の建設に対応できる「建て起こし工法」を採用予定。
-
- デザイン性の高い耐火建築による、人に優しく美しい都市景観の拡充。
 - 国産材の積極利用。
 - 高耐久性仕様の採用によるメンテナンス負荷の低減。
 - 次世代省エネ基準を採用。住宅使用時の省エネルギーおよびCO₂排出削減。
 - 工事中および完成時に見学会を実施。



地域を選ばず都市に潤いと彩りを与える、美しい木造建築に

2階から4階までの床根太にI型複合梁（Iジョイスト）を使用。
写真は、その施工例とIジョイスト

事業スケジュール



建物の鉛直方向変形の様子

小松ら「枠組壁工法4階建て住宅の沈み込みに関する研究」
2009年 日本建築学会大会（東北）発表

プロジェクト データ

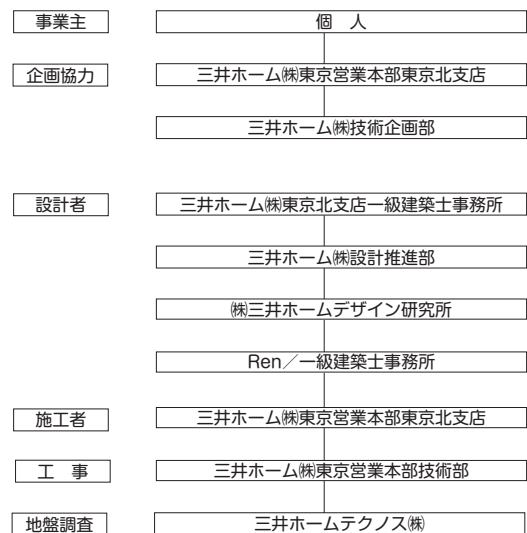


提案者(事業者)、設計者、施工者、建設地は扉頁参照

建物名称：YK邸
 建物用途：3世帯同居個人住宅
 主要構造：■木造（軸組構法 枠組壁工法 丸太組構法 その他）鉄骨造 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 その他
 防火地域等の区分：■防火地域 準防火地域 法22条区域 その他の区域
 耐火建築物等の要件：■耐火建築物 準耐火建築物（60分耐火）準耐火建築物（45分耐火）その他の建築物
 敷地面積：61.11㎡
 建築面積：43.88㎡
 延べ面積：175.52㎡
 階数：地上4階

事業期間：平成22年度～平成23年度
 補助対象事業費：77,587千円
 補助金額：14,666千円

事業の実施体制





正面外観



道路側外観



アルミクラッド樹脂サッシとLow-Eペアガラスの採用で高い断熱性



屋内の階段



基礎工事



建て起こし工法の施工の様子



国産材による縦枠を採用



耐火構造床にジョイストを採用



上棟見学会の様子